

第 17 回都市水害に関するシンポジウム 講演論文集

Proceedings of the 17th Symposium on
Urban Flood Disasters
(Nov. 9, 2018)

平成 30 年 11 月 9 日
九州大学西新プラザ

主催 (公社) 土木学会西部支部

後援 博多あん・あんリーダー一会

(一社) 建設コンサルタンツ協会九州支部

第17回都市水害に関するシンポジウムプログラム

13:00	開 会	実行委員会幹事	小川 伸治
13:00 ~ 13:05	挨拶	実行委員長	中野 卓朗
13:05 ~ 13:55	「高尾川における地下河川の整備について」 福岡県那珂県土整備事務所		田浦 康司
13:55 ~ 14:45	「平成29年7月九州北部豪雨災害における朝倉市の対応について」 朝倉市総務部		梅田 功
14:45 ~ 15:00	休 憩		
15:00 ~ 15:40	「朝倉市蜷城地区コミュニティにおける平成29年九州北部豪雨時の対応」 朝倉市蜷城地区コミュニティ事務局長		羽野 勉
15:40 ~ 16:30	「平成30年7月豪雨について（速報）」 気象研究所予報研究部		津口 裕茂
16:30 ~ 16:50	「高齢化社会における水害対策のあり方に関する調査研究委員会」報告 元九州大学大学院工学研究院		橋本 晴行
16:50	閉 会	実行委員会副委員長	菊池 英明

緒 言

近年、巨大台風や異常豪雨に代表される自然災害が頻発し、世界的に深刻な状況となっています。我が国においても、今年7月の西日本豪雨、9月に相次いで上陸した台風21号・24号と、全国的に河川の氾濫や浸水被害、土砂災害が発生し、各地で頻発している地震と相まって社会に深刻な影を落としています。

九州北部では、平成11年、15年、21年に地下街や都市中心部が浸水する都市型水害が頻発したほか、24年の九州北部豪雨では各地で雨量・水位が既往最高値を更新し、破堤氾濫や浸水被害が発生するとともに、29年豪雨では流木・土砂氾濫災害など新しいタイプの災害も発生しました。これらの災害は、平常時の防災対策のみならず、災害発生時における予測精度、避難勧告・指示のタイミングおよびその発令対象範囲に関して広範な議論を呼んでおり、これを受けて災害対策基本法や水防法、土砂災害防止法の改正など、災害対策の充実に向けた法的整備が行われ、各種ガイドラインの策定や基準水位、基準雨量の見直し等が進められています。

一方、若年人口が減少し、高齢者層が大きな割合を占める社会へと移行しつつある我が国においては、高齢者をはじめとする災害時要配慮者が自然災害により被災する事例が多く発生し、これらに対応する事が焦眉の課題となっています。このため、行政機関等の防災担当者はさまざまな対策を講じているものの、人的資源や財政的基盤の限界、個人情報保護等への配慮の観点から、災害時要配慮者に関する情報の共有や情報提供の方法、具体的な避難実施のあり方について苦慮しているのが実情です。

このような状況の中、土木学会西部支部では「高齢化社会における水害対策のあり方に関する調査研究委員会」(平成27～30年度)を設置し、気象学、河川工学、交通工学、建築学、心理学、社会学など広範な分野の視点から、特に高齢者をはじめとする災害時要配慮者を対象とした豪雨時の情報伝達や避難のあり方について調査検討を進めてまいりました。

平成11年の福岡水害を契機として始まった「都市水害に関するシンポジウム」は今回で17回目を迎えることになりました。今回のシンポジウムでは、研究者、実務家、技術者および防災士の方々が一堂に会し、まず、田浦康司氏から、「高尾川における地下河川の整備について」として福岡県での都市水害の対策事例をご紹介します。次に、梅田功氏から「平成29年7月九州北部豪雨災害における朝倉市の対応について」として、また、羽野勉氏から「朝倉市蜷城地区コミュニティにおける平成29年九州北部豪雨時の対応」として、朝倉市の対応事例を紹介いただきます。さらに、本年7月に発生した豪雨の知見について、気象研究所の津口裕茂氏から「平成30年7月豪雨について(速報)」と題したご講演をいただき、討議することといたします。

本シンポジウムでの討議結果が、豪雨災害に対する防災・減災に繋がることを期待します。

平成30年11月9日

中野 卓朗

実行委員会

委員長 : 中野卓朗 パシフィックコンサルタンツ(株)
副委員長 : 菊池英明 八千代エンジニアリング(株) 名古屋支店 河川・水工部
幹事長 : 松田如水 パシフィックコンサルタンツ(株)九州支社
国土基盤事業部河川室

アドバイザー : 大和則夫 (株)東京建設コンサルタント
幹事 : 小川伸治 西日本技術開発(株) 水工部
幹事 : 中島隆信 (株)建設技術研究所九州支社 河川部
幹事 : 橋本晴行 元九州大学大学院工学研究院
幹事 : 福元秀一郎 (株)東京建設コンサルタント九州支社 環境防災部
幹事 : 山崎祐一 日本工営(株) 福岡支店技術第一部
委員 : 伊東 巧 (株)サーベイリサーチセンター九州事務所 企画課
委員 : 宇城 輝 国際航業(株) 国土保全グループ
委員 : 川越典子 日本工営(株) 福岡支店技術第一部
委員 : 日下部正昭 第一復建(株) 河川砂防部
委員 : 柴田俊彦 (株)パスコ 九州事業部
委員 : 高岡広樹 八千代エンジニアリング(株)九州支店 河川・水工部
委員 : 高西春二 パシフィックコンサルタンツ(株) 国土基盤事業本部
委員 : 中島和弘 いであ(株)九州支店 河川水工部
委員 : 原田民司郎 (株)豊福設計
委員 : 平井康隆 (株)建設技術研究所九州支社 河川部
委員 : 福岡尚樹 西日本技術開発(株) 水工部
委員 : 森元賢哉 (株)東京建設コンサルタント九州支社 河川計画部

目 次

1. 「高尾川における地下河川の整備について」
.....田浦 康司 1
2. 「平成 29 年 7 月九州北部豪雨災害における朝倉市の対応について」
.....梅田 功 11
3. 「朝倉市蜷城地区コミュニティにおける平成 29 年九州北部豪雨時の対応」
.....羽野 勉 17
4. 「平成 30 年 7 月豪雨について（速報）」
.....津口 裕茂 23